

専門科目 保健政策・医療管理学分野

(博士後期課程)

| | | | | |
|-----|-----------------|--------------------------|------|-------|
| 科目名 | 保健政策・医療管理学特殊研究Ⅲ | code number : HPM 613 | 選択必修 | Ⅲ 4単位 |
|-----|-----------------|--------------------------|------|-------|

| | | | | | | | |
|-------|-------|------|----|-------|--------|------|----|
| 科目責任者 | 各指導教員 | | | | | | |
| 配当年次 | 3年次 | 配当学期 | 通年 | 曜日・時限 | (個別設定) | 授業方法 | 演習 |

1. 授業の概要

論文作成能力に加えて、保健医療システムの変革者(Change Agent)として具体的な成果を生み出すことができる。
(より具体的な行動目標については、別途予定されている合同ガイダンスや研究指導教員との個別面談を通じて学生ごとに設定する)

2. 授業の到達目標

保健政策・医療管理学分野の研究テーマにおいて、公衆衛生学の研究者として必要とされる調査研究方法や論文作成をはじめとする研究手法について指導を実施する一方、学生自らが自立して研究テーマを模索し、結果をまとめ、情報を発信する実践者としてのコンピテンス(成果達成のために求められる能力)を身に付けることを基本目標とする。
尚、個々の学生のこれまでのキャリア、能力、進路希望等を踏まえた適切な指導を実施する。

3. 成績評価の方法および基準

最終成果物としての研究発表だけでなく最終成果にいたるプロセスも評価対象とする。
(詳細については、別途予定されている合同ガイダンスで説明する)

4. 教科書・テキスト

・適宜提示する。

5. 参考書

・適宜提示する。

6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

まずは学生各自の本分野における高い問題意識が重要である。
その上で、研究指導教員との議論を通じて問題解決に向けた研究能力・実践能力の能力開発を継続的に行っていく。

7. その他履修上の注意事項

- ・学位申請の手引き等により、計画審査、中間審査および学位審査に至る流れを理解し、数年間の長期計画を立案し実行する。
- ・毎月末、1か月間の学習や研究活動などについて、指導教員に報告する。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

<授業計画>

保健政策・医療管理学特殊研究Ⅲ

| 回数 | 日付 | 時限 | 担当者 | 授業内容 |
|---|----|----|-----|------|
| <p>【概要】 保健政策や医療管理学の分野の研究で特に必要とされる研究手法について、深く追求する。特に理論面を重視して、現実社会への応用を評価してゆく。具体的内容は各研究課題に合わせて柔軟に対応する。</p> <p>【研究指導教員と主な指導内容】 研究指導教員は個々の学生の研究テーマに応じて以下から指名される。指導日程については当該指導教員と相談し別途定める。</p> <p>(中田善規) 医療管理学の実務に活かされるような現場でのデータ収集と分析方法などを研究指導する。</p> <p>(金城謙太郎)</p> <p>(高橋謙造) 地域医療やプライマリ・ヘルスケアに関する研究指導を補助する。</p> <p>(井上まり子) 国内外のユニバーサル・ヘルス・カバレッジなどを研究指導する。</p> <p>(崎坂香屋子) 国内外の保健医療政策の地域研究、災害地域社会医学、自殺総合対策学などを研究指導する。</p> <p>尚、研究指導補助教員は、上記のほか、内容に応じて他分野の教員が分野横断的に担当する。</p> | | | | |